

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

JAあいら伊豆は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、当JAの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者のためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌「2017JAあいら伊豆現況のご報告」を作成いたしました。皆さまが当JAの事業をさらにご利用いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

おかげさまをもちまして、平成28年度は「JAあいら伊豆合併20周年」という節目の年となり、様々なイベントを通じて組合員の皆さまへの感謝の気持ちを伝えることができました。

さて、農業やJAを取り巻く情勢は、TPP承認案と関連法案が昨年12月の参院本会議において可決・成立したものの、いまだ発行の見通しは立っておらず、今後の動向は楽観視できない状況であることや、平成28年4月の改正農協法の施行や、日銀による「マイナス金利政策」による金融緩和など、私たちJAを取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

こうした中、JAあいら伊豆では、平成27年度に「JAあいら伊豆自己改革実践計画」を策定し、柑橘類・キウイ・いちじく等の共販出荷者を対象に直販体制を重視した少量多品種・多品目栽培の提案、また果樹の改植事業への取り組み強化や、学校給食への納入等の取り組みを通じて、農家組合員の農業所得向上に今年度も取り組んでまいりました。平成31年度までの完了を目指し、今後も自己改革を進めてまいります。

平成29年度からは、新たな3か年計画「～ともに拓こう、協同が輝く時代～」をスローガンに、自己改革同様、農家組合員の農業所得の向上、また、くらしの豊かさの実現、JAの健全な運営など、各事業を通じ、役職員一丸となり取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

平成29年7月
あいら伊豆農業協同組合
代表理事組合長 土屋 壽良